

Wood Start!

沖縄の森を育て、守る循環型社会を構築することを目指す

沖縄県 ウッドスタート宣言！



沖縄県は

「木に触れ、木を知ることからスタートする」
「木の良さに気づくきっかけの場を増やしていきたい」
そのような思いも込め、令和5年1月15日に
「**沖縄県ウッドスタート宣言**」を行いました。

沖縄県では宣言をきっかけに
森林組合、製材業、木工、保育、教育、福祉、企業の
CSR活動など多様な関係者と連携・協力しながら
木に触れ・木の良さに気づき・森を知る 活動の輪を
広げていきたいと考えています。

ウッドスタート宣言 調印式の様子



左から国頭村 知花村長、芸術と遊び創造協会 多田理事長、沖縄県 照屋副知事

Wood Start
ウッドスタート宣言

沖縄県は、県土全体の約半分が森林に覆われています。沖縄の森林は、琉球王国時代に、三司官であった蔡温が奔走し、適正な森林管理に努めて守られた歴史を持っています。また戦争を境に大幅に荒廃したのちも、戦後の復興を通じていち早く植林に取り組み、適正な整備と管理により、現在、充実した状態が保たれています。

そして、国内でも有数の、貴重な生き物が棲み、その独自の生態系を守り維持してきたやんばるの森は、2021年に世界自然遺産に登録されました。

世界に誇る沖縄の森で育った樹木を多くの県民に身近に感じてもらうため、沖縄県と芸術と遊び創造協会は、木育を推進していきます。豊かな自然や身近にある木に触れることにより、豊かな子育て・子育て環境を整えるだけでなく、多様な世代の人たちが木の良さを知り、暮らしに木を取り入れることで、地域材木製品の消費を増やし、そのことが沖縄の森を育て、守ることになるような循環型社会を構築することを目指します。

私たちは、ここに「ウッドスタート」を宣言し、暮らしの中に木を取り入れ、木のもっている可能性を最大限引き出し、それを子育て・子育てに生かす取り組みを、協力し合いながら進めていくことを誓います。

令和5年1月15日

沖縄県 × 芸術と遊び創造協会

照屋 義典 × 多田 千尋

国頭村のリュウキュウマツの一枚板で製作された調印書

もくいく

「木育」とは？

林野庁をはじめとする様々な団体による
木材・森林資源などの普及啓発に向けた取組の一つです。
森林・林業基本計画(森林・林業基本法)に位置づけされており
「木の良さ、木を使う意義を広める活動」としています。
対象を小学生に限定せず
幼児から中高生・大人まで幅広く設定しています。

「木育」かきくけこ

- か 環境を守る「木育」
- き 木の文化を伝える「木育」
- く 暮らしに木を取り入れる「木育」
- け 経済を活性化させる「木育」
- こ 子どもの心を豊かにする「木育」

※出典:芸術と遊び創造協会の「木育ラボ」ホームページ



積木の無料貸出



小学校・学童クラブ・高校等への講師派遣



木育キャラバン



木育活動は、伝統文化・環境意識の向上、地域資源への関心、創造力の育成など子供達の心を豊かにしていくことが期待されます。

また、島嶼県である沖縄においては、数少ない地域資源を考えるきっかけとなる取組だともいえます。

さらに、首里城に象徴される木の文化を次の世代につなぐことも重要なことだと考えています。

特に、亜熱帯特有の森が広がる沖縄に住む子供達には、木工体験や木製玩具での遊びなど木材に触れ、木の良さに気づき、森と人との繋がりを知り、自然との関わり方を主体的に考える心を育んでもらいたいと考えています。

県内の取組



ノコギリ体験



木工体験



森づくり



木育コーナー設置